



2020年10月28日

各位

会社名 大日本住友製薬株式会社
代表者名 代表取締役社長 野村 博
(コード:4506 東証第1部)
問合せ先 執行役員
コーポレートコミュニケーション担当 樋口 敦子
(大阪:TEL. 06-6203-1407)
(東京:TEL. 03-5159-3300)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、2020年7月30日に公表した2021年3月期通期連結業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせします。

記

1. 2021年3月期通期連結業績予想数値の修正(2020年4月1日~2021年3月31日)

	売上収益	コア 営業利益	営業利益	当期利益	親会社の 所有者に 帰属する 当期利益	基本的 1株当 り当期利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	495,000	33,000	24,000	△12,000	9,000	22.65
今回修正予想(B)	506,000	47,000	58,000	21,000	42,000	105.71
増減額(B-A)	11,000	14,000	34,000	33,000	33,000	—
増減率(%)	2.2	42.4	141.7	—	366.7	—
(ご参考)前期実績 (2020年3月期)	482,732	71,982	83,239	35,918	40,753	102.58

(注)コア営業利益は、営業利益から条件付対価公正価値の変動額、減損損失および事業構造改善費用等の非経常的な要因により発生した損益を控除して算出しています。

2. 修正の理由

売上収益は、前回発表予想では、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響による米国での非定型抗精神病薬「ラツーダ」の売上減少を見込んでいましたが、第2四半期累計期間までの売上は好調に推移していることから、前回発表予想から110億円増の5,060億円に修正しました。

売上収益の増加に伴い、売上総利益が増加することに加え、コアベースの販売費及び一般管理費は減少する見込みであることから、コア営業利益は、前回発表予想から140億円増の470億円に修正しました。また、条件付対価公正価値の変動額について、抗がん剤として開発中のナパブカシンの開発スケジュールを見直したことにより、前回発表予想と比べ費用の減少を見込むことから、営業利益は、前回発表予想から340億円増の580億円に修正しました。

営業利益の増加に伴い、当期利益および親会社の所有者に帰属する当期利益は、前回発表予想からそれぞれ330億円増の210億円、420億円に修正しました。

(注) 本プレスリリースに含まれる将来の予測等に関する事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定および判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しています。したがって、業績・その他の将来の予測等に関する事項は、今後さまざまな要因によって本リリースの記載内容と大きく異なる結果となる可能性があります。

以 上